

科 目 名	SS 英語 I <英語コミュニケーション I 分野>	理数科・ 1年次・5単位中3単位
目 標	現代社会を捉えた題材で、言語の使用場面を考慮し、4技能を総合的・統合的に学習する。またコミュニケーションに必要となる、英語の基本的な表現力を身につけ、論理的思考力や批判的思考力を養うことをねらいとする。	
位 置 づ け	中学校3カ年で学んだことを基礎にして聞く・話す・読む・書くといった言語活動を多様な場面において経験しながら、学習内容を定着させていく。	

■使用する教材 ・LANDMARK English Communication I ・必携英単語 LEAP ・Focus on Listening Basic ・ハンドアウト ほか	■学習する単元とおおよその時期 L1 Enjoy your journey (4月) L2 Curry travel around the world (5月) L3 School uniform (6月) L4 Eco-tour on Yakushima (7月) L5 Bailey the facility (8月) L6 Communication without words (9月) L7 Dear world Bana's war (10月) L8 The best education to everyone, (11月) Everywhere L9 Space elevator (12月／1月) L10 Friendship over time (2月／3月)
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 ・予習:教科書に関するハンドアウトを活用し、新出単語・熟語の定義、用例や、本文の概要を把握する。Writing に関してはテキストの問題に取り組む。 ・授業:ハンドアウトを活用した理解、定着、本文関連する意見を交流。Writing, Listening は、テキストの内容に関する理解、定着、活用。 ・復習:学習した項目の定着、活用	

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 学習した知識や技能に関して、ほぼ正確に用いられる。	学習した事項の概念を理解し、状況に応じて活用し、論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みをして行える。
	B 学習した知識や技能に関して、ある程度、正確に用いられる。	学習した事項の概念を、状況に応じて活用し、ある程度、論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みで行う姿勢はある。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、小テスト	定期考査、パフォーマンス課題(エッセイライティングなど)	授業中の参加態度

■領域ごとの授業時間数について

	L10 Friendship over time							
	L9 Space elevator							
	L8 The best education to everyone, Everywhere							
	L7 Dear world Bana's war L6 Communication without words							
	L5 Bailey the facility							
	L4 Eco-tour on Yakushima							
	L3 School uniform L2 Curry travel around the world							
	L1 Enjoy your journey							
単元名								
聞く	2	4	2	3	4	3	3	3
読む	2	4	2	3	4	3	3	3
書く	2	4	2	3	4	3	3	3
話す（やりとり）	2		2		4		3	
話す（発表する）		4		3		3		3

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください